



新会長に富永寿彦幹事長が就任

訪問

駒澤大学同窓会熊本県支部

駒澤大学同窓会熊本県支部（米丸義行会長）はこのほど、アークホテル熊本城前で2013年度総会および懇親会を開催した。当日は来賓を含め28人が参加。役員改選では新会長に富永寿彦幹事長（前列右から2人目）が選出された。前列右から3人目が米丸会長。



26人参加し 第7回「関関同立対抗ゴルフ」

関・関・同・立 同窓会県支部

関西学院大学、関西大学、同志社大学、立命館大学の関西地区4大学同窓会県支部は10月12日、「関関同立大学対抗ゴルフ大会」を阿蘇東急ゴルフクラブ（阿蘇郡南阿蘇村河陽）で開いた。第7回となる今回は計26人が参加。雲ひとつない秋空の下、ダブルペリア方式で熱戦を展開した。



記念トークショーで来熊した三谷幸喜監督

公開中の映画「清須会議」をPR
三谷幸喜監督が来熊 パルコ熊本店で記念トークショー
 11月9日から公開中の映画「清須会議」の原作・脚本と監督を手掛けた三谷幸喜さんが11月6日、公開を前にパルコ熊本店（熊本市中央区手取本町）で、記念トークショーを行った。
 今回のトークショーは、三谷監督の6作目の映画の最新作「清須会議」の話題について。実に17年ぶりとなる自身による書き下ろし小説「清須会議」を原作としつつも、「小説とは全く違ったアプローチで映画化した。現代劇は映画やテレビなど何本も製作してきましたが、時代劇に挑んだのは初めてです。子どもの頃から日本の歴史や時代劇が好きで、この会議は小学校4年生のときに知り、興味があつたんです」と経緯を語った。
 今回の映画の題材となった「清須会議」は、天正10年（1582年）の本能寺の変で一大の英雄織田信長が死亡。その跡を継ぐのは誰か。後見に名乗りを挙げたのは2人。筆頭家老の柴田勝家（役者以下同 役所広司）と後の豊臣秀吉となる羽柴秀吉（大泉洋）。勝家は信長の三男でしっかり者の信孝（坂東巳之助）を、秀吉は次男で大方つけ者と噂される信雄（妻夫木聡）を、それぞれ後継者として推す。また、信長や秀吉によって討たれた明智光秀の領地再配分なども、当時の尾張国清須城（現在の愛知県清須市）で討議された。
 会議に出席したのは4人。勝家、秀吉に加え、勝家の盟友であり参謀的存在の丹羽長秀（小日向文世）、立場をあいまいにして強い方に付こうとする池田恒興（佐藤浩市）。一進一退の頭脳戦が

繰り返される。さまざまな駆け引きの中で、取り巻く全ての人々の思惑なども描かれている。
 三谷監督は「時代劇なので戦やアクションシーンもあるのではと想像される人もおられると思いますが、今回の作品ではありません。むしろ、私は会議というものがとても大好きだったので、会議の模様を中心に描いています。また、それぞれの役者さんの個性に合わせた役作り、そして、見逃してならないのが、その意味、女性が重要なキーパーソンになっているところですね」と見所を説明。
 苦心した点については、衣装やメイクなど当時の資料や肖像画などを十分に参考にしました。また、秀吉の指が実は6本あったのではという点で、それが分かるシーンも少し入れていました」との発表には、トークショーの参加した多くの客も感嘆の声を上げた。
 映画は現在、全国の東宝系でロードショーされている。



抽選で選ばれた参加者の前で質問に答える三谷監督。（パルコ熊本店5階の和カフェ「ナナズグリーンティー」にて）

コミュニケーション講座
魅力ある人間力アップに向けて（第28回）

人は、ひとりでは生きて行けません。さまざまな形で支えあって生きています。それぞれが持つエネルギーを見守り、引き出す。コミュニケーションは、人と人をつなぐ原点ともいえます。家庭、職場、近所付き合い、友人との付き合い、その全てがコミュニケーションであり、人生を楽しむこと、エネルギーアップにもつながります。ここではさまざまなコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。



「イライラ解消法」

「コミュニケーションアドバイザー 津川 育子」

先日、買ったばかりの車を、庭の木に擦って傷をつけてしまいました。普段ならそんなへまはしないのに、その時は時間に余裕がなく、イライラしてしまつていて、その気持ちをそのまま運転にぶつけていたのです。結果、大きなショックを受ける羽目になりました。
 そもそも、イライラとはどこからやってくるのでしょうか。簡単なことです。イライラは、自分自身の心から湧き上がってきます。誰かがあなたに与えるものではなく、あなたの心が、イライラを生み出しているのです。
 では、自分の中でそのイライラをうまく解消する事ができれば、もつと肩の力を抜いて、楽しく生きることができるとは思いませんか？
 イライラを生み出す「気分・感情」には、「社会での自分の立ち位置」、「なんとなく満足できず、面白くない」、「親子関係」、「友達関係」など、人と接する際に湧き上がるモノがほとんどです。つまり、イライラには、必ず「原因」があるのです。
 まず、あなたの心の声に、耳を傾けてみましょう。心の声に耳を傾け、自分が何に対してイライラするのか、どんな時にそう感じるのか、一度立ち止まり、自分を分析してみてください。
 イライラの原因が分かったら、今度はその感情を、認めてあげましょう。イライラ、モヤモヤすることや、悲しいと思うこと、悔しいと思うことを許容します。そう感じる自分を、許してあげてください。イライラを感じない人なんかいます。

自分自身が「何を求めているのか」「どういう点で、周りから認められているのか」を考えると、周りから認められているのか、具体的な対策を考えることができます。あるいは、逆にはつきりと、「自分は周りの評価に関係なく、この道を進もう」と決めることができるかもしれません。
 そこにどんな原因があれば、イライラを感じるのあなたの心です。イライラを感じるなら、一度立ち止まって、自分の心の声を聞いてあげましょう。
 「イライラ」は、「自分自身を見つめなおす良い機会だ」と、私は思います。

コミュニケーション講座「自分の気持ちの伝え方を開催します」
 期日…12月6日（金）10時
 場所…上通り大宝堂4階
 講座料金…1000円
 （筆者プロフィール） コミュニケーションアドバイザー。大学卒業後、ニチイ学館、近代経営研究所などの勤務を経て、平成10年10月人財育成サポートセンター設立。22年2月に法人化し、子育て、親子のコミュニケーションの勉強会、講座を随時開催。熊本県民力レックス主催講座「サテライト教室」子育て支援講座などの講師も勤めている。県内各地での講演も多数。美里町教育委員。子どもは3人。著書として、「愛の小箱（夫の闘病と家族模様）がある。」

増田 真一さん(43)
 特進グループ 社長
 （熊本市南区近見2丁目）
 仕事やキャリアの 手本となって、助言・指導を行いながら人の可能性を引き出し導く「メンター」育成を行っており、12月1日にはくまもと県民交流館パレアで「圧倒的な影響力を手に入れる5つの方法」と題して講演会を開きます。経営者や独立・開業を目指す人などにお勧めです。

宮崎 俊幸さん(46)
 熊本競輪サポーターズクラブ 会長
 （熊本市中央区水前寺5丁目）
 熊本競輪を愛する 有志でサポーターズクラブを設立し、現在メンバーを募集しています。競輪初心者に出走表の見方や買い方をアドバイスするほか、イベントの手伝いなどを行っています。本場開催時にはインフォメーションコーナーなどにいますので、気軽にお声掛けください。

沖島 弘樹さん(47)
 ランドバックス 厨房統括リーダー
 （熊本市中央区本山町）
 回転ずし「おどり寿し」で厨房管理を担当。調理、衛生、食材管理、人材教育などの業務範囲で、集客のための店舗イメージづくり、来店時の感動、リピートにつなげる満足感を「おいそう、おいしい、おいかった」で表現し、略して「そう、い、かった」を追求する活動を行っています。

安原 めぐみさん(34)
 熊本県立大学 就職アドバイザー
 （熊本市東区月出3丁目）
 大学のキャリアセンターで学生の就職支援を行っています。学生が希望する就職先は民間企業や公務員、文系・理系と多岐にわたり、各学生の立場や考え、目標を理解し、それぞれに合ったサポートが必要です。時代の変化に柔軟に対応し、自発的かつ前向きに就職活動を終えてほしいです。